

議長の年頭の挨拶

境町議会議長

倉持 功



輝かしい平成28年の新春を迎え、町議会を代表いたしましたとして、町民の皆様にご挨拶を申し上げます。

昨年3月の、圏央道における境・古河ICの開通により、我々境町民の利便性が大きく変化いたしました。また、平成28年度中には、圏央道の全線開通が見込まれております。当町では、この圏央道を最大限活用し、地域経済発展、また税収及び雇用確保のためIC周辺開発を進めているところ

でございます。

昨年9月には、関東・東北集中豪雨により、茨城県は甚大な被害を受けました。境町におきましても、国から激甚災害の指定を受け、復旧に全力を挙げてきたところであり、議会としても町と共に、安倍首相を初め関係機関に強く要望・陳情をしてまいりました。今後も、継続して復旧活動を行っていくと共に、今回の教訓を生かし、災害に強い境町を構築していかなければならないと考えております。

私たち議会は、未来に展望の持てる、住みよい町づくりを目指し、本年も関係各位との連携を深め、町民の負託に応えるべく、町政の諸問題解決にむけ邁進して参る所存でございます。

結びに、境町の発展と町民の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます、年頭の挨拶とさせていただきます。

要望活動

昨年9月に発生した台風18号による関東・東北豪雨災害からの早期復旧及び今後の防災対策強化について、茨城県利根川・鬼怒川・小貝川の沿川市町長と首相官邸を訪問し、安倍内閣総理大臣に要望書を提出してまいりました。また、町議会では町とともに、災害対策施設の整備について、石井国土交通大臣に要望書の提出をしてまいりました。



安倍内閣総理大臣に要望活動



国土交通大臣に要望活動